

## 奈良県手をつなぐ育成会 子育て支援部 研修会1報告

- 1、日時 平成24年7月6日
- 2、場所 奈良県心身障害者福祉センター 研修室
- 3、講師 社会福祉法人 宝山寺福祉事業団 子ども発達支援センター 仔鹿園 園長  
岡本とも子氏
- 4、テーマ 学齢期に身につけたいこと「長い夏休みを親子で楽しく乗り切るために」
- 5、参加者 50名

47～42

### 講演内容

レジメに沿い（発達協会資料の保護者アンケート結果 今中学生が困っていることより）

身辺・マナーについて

例) トイレなどのマナー

たとえ小さい子どもでも、教室等、公の場での着替えはNG!

今すべきこと 繰り返し繰り返しの経験 小さい頃から、社会に認められない行動は止めることが大事（親の想像力が大事、あきらめず、ダメを伝える、正しいことを教える）それでも、問題行動が残ったら、周りの理解を得る努力、本人にもあきらめる約束するなど、本人が受け入れられるように、関わる。

YES / NO の大切さ

伝えられる事の大切さを再認識（困っていることが伝えられる）

方法・サイン・たとえそれが泣き、奇声であっても伝える事の始まりである。親が気づいてあげられること大切

例) ギャ～と言う 何故奇声を出すか？ 原因は？で対処法を考える。

根気よく ひとつひとつのサインに向き合う。

関わることで、本人からのサインが出やすくなり、対処を繰り返すことで伝えるコミュニケーションがスムーズになり安定する。

パニックについて

パニックが止まらない・・・

一番に安全確保・その後に原因を取り除く

パニックの多い子は、あきらめられない子ども

あきらめ上手にするには、即座に回答を出す（YES/NO を伝える）関わる極意・それでもあきらめないときは、こちらがあきらめる。

子どもは、相手の表情、声のトーンで気持ちをはかっているので、コミュニケーションの楽しさが分かるには、常日頃からの丁寧な対応を心がける  
積み重ねの経験が大事

#### 夏休みの活用

- ★ 夏休みは長いとあきらめる
- ★ 人と関わるチャンスなので、どう関われば良いか、色々な所に連れて行く（あまり盛りだくさんの予定だと興奮状態になり、夜眠れないことがある）
- ★ 事業所を使う場合、スケジュール・スタッフの変更は事前に知らせてもらう（変更されたしんどさが、後にフラッシュバックし、自宅でパニックになりやすい）
- ★ 1日のスケジュールたてる。大まかな流れと何時に帰宅できるかを必ず入れる。（あまり細かくすると、親も子もしんどくなる）
- ★ 苦手なことに、小さいステップでチャレンジする  
例) 運動嫌い→水 OK→プール運動嫌い→水は NO→散歩（買い物）距離は短く

#### 発達障害のある子どもへの関わり10箇条

- 1、身体感覚を育てる。幼児期に感覚を刺激することを嫌がったか？場所・場面の経験を増やす。散歩は良い
- 2、全身を強調させて動かす。ボール・ブランコ・リズム体操・縄跳び良い。身体の下左右をバラバラに動かす。
- 3、指先を使う。お手伝い・日常の動作
- 4、目で見て手を動かす。お手伝いでお風呂掃除・汚れている所を洗う、汚れているところは何処？等の声かけする
- 5、動作の模倣をする。まねっこ
- 6、落ち着いて遊ぶ。1つのことに集中して遊ぶには、環境を作り、刺激は排除する
- 7、目で見て認識する
- 8、ことばのやりとりをする
- 9、友達とのコミュニケーションをとる 友達に本人の説明をすることが大事
- 10、生活習慣を身につける  
集中出来る時間は、大人は約1時間 6才の子どもなら30分 障害を持っているなら15分と認識すること

#### 質問

##### 宿題について

本人に合った内容を先生と相談する。押しつけてはダメ

#### 就学について

高機能発達障害も含め全て就学指導委員会にかかるので、教育相談は受けるべき。この地域にこの子がいますと宣言する場と思うこと。進路先が特別支援学校でも同じ。

#### 相談機関について

市町村の相談支援センターや仔鹿園の療育相談もあります。

#### ことばについて

ことばが出るには、しっかり真似が出来ることが大事。しっかり見る事をさせ、親がよいモデルになれるように、穏やかに正しく話すことが重要

#### 1日中ゲームをする子どもの対応

親が制御出来ない行動も、第三者が入ることで改善されることがあるので、先生など立ち会いのもと、約束事を決める

#### 兄弟・友達のを勝手に取る。乱暴な行動をとる

コミュニケーションが下手なので、子ども同士の場合は、保育士・先生に間に入ってもらう・兄弟の場合は、親が間に入り、コミュニケーションの方法・適切な言葉かけを教える

奈良県手をつなぐ育成会 子育て支援部 研修会1 参加者アンケートまとめ

★ どこがよかった

- ・ 具体的に日常生活においてお話しくださったので、これから実践していこうと思います。  
(意見多数)
- ・ 夏休みに子どもに関わり方を教えてもらったのが、よかったです。子どもがあきらめなかったら、親があきらめることが、必要だなとつくづく思いました。
- ・ あきらめる大切さ コミュニケーションの難しさをまた知りました。
- ・ 絵を描くのも、筆がいいなどの具体的なアドバイス、歩くことも集中しているのだということが聞けてよかったです。親にも少しあきらめも必要ということがわかった。今まで色々なお話を聞いた中でも楽しくお話が聞けました。
- ・ 具体的な話が聞けて、試してみようと思えることもたくさんあったので、すごくためになりました。
- ・ 今日から出来るような、具体的なアドバイスが多く、とても勉強になりました。
- ・ 計画の立て方など、具体的によくわかった。(意見多数)
- ・ すべてよかった。とくにあきらめるそれは次の努力への工夫の始まりということに。分かりやすく、1つ1つうなづけて広い心で対応したいと思った。
- ・ いろいろな課題に対して具体的な対処の仕方の話が聞けてよかった。精神的な面での話よかった(「あきらめ」という方法 ポジティブな方法)
- ・ まだ子どもは小さいのですが、参加してみました。具体的なお話を楽しく聞かせていただきあつという間に時間が過ぎました。質問のゲーム三昧になりそうでは、第三者に入ってもらえるのも大事で、親も子もあきらめることを覚えなといけないことしっかり胸に刻みます。
- ・ 今日まで、気づかなかった事があり、試してみたい。
- ・ 目先の事だけでなく、長期的に考えなければならぬことも分かってよかった。具体的な話が色々あり分かりやすかった。
- ・ 自分の子どもの事が再認識することが、出来ました。だいたいみんな同じようなことで悩んでいるんだと思いました。
- ・ 夏休みを親子で楽しく乗りきるためのプリントをまとめられたのが、よく分かりよかったと思いました。
- ・ 私が、頭のスイッチを切り替えていけないと、思いながら、今後のために役に立ちました。
- ・ 子どもだけでなく親もあきらめるということが、必要だというお話が、とてもおもしろく、そうだなと考えさせられました。(意見多数)
- ・ 息子は現在4才ですが、今何の練習や体験をしておくべきか又、その大切さが分かりました。

- ・出来る対応をして、無理ならそれ以上は“あきらめる” あきらめるって言葉がこんなに前向きに感じられたのが意外でした。そう思うと頑張れることも逆に出来る気がしてきました。我が子にも YES/NO を伝え、困っていることを伝える事を現在の一番の目標にしています。根気よく取り組める気がしました。
- ・いつも岡本先生のお話は、心にストンと入ってくるような気がしてホッとします。においを嗅いだりさわったりする困った行動があるので、お話を参考にしてみたいと思います。
- ・うちの子どものことかと思うくらい、当てはまることが多く、ためになりました。
- ・先生のお話は、回答がはっきりしているので、分かりやすかったです。パニックを起こしたときは、もう結果が出ている事ってあーそうなんだと思いました。参考になるお話が、たくさんあってよかったです。頂いたパンフレットありがたく、おばあちゃんに渡します。
- ・ついつい頑張ってしまう自分がいて、「あきらめる」目から鱗が落ちるお話でした。これからそうしていきたいと思いました。(意見多数)
- ・「集中30分できたらお見事」「あきらめ上手になる」など自分の中にある「こうあるべき」概念が、ちがうということに気づけました。長い夏休み一緒に色々な体験をして楽しく過ごせるように計画をたてていこうと思えました。穏やかに過ごせるようにしたいです。
- ・全てがとても参考になりました。特に発達障害についてのお話は各項目共に、我が子の大きな課題であることに、改めて気づかされました。現在中2で、今思うと、それぞれのが前向いて進まず、そのままにしてきた部分だったなと思います。少しずつでも、丁寧に関わっていきたいと思います。1日1日の大切さを感じました。子どもの行動1つ1つに振り回され、精神的にいっぱいになることが多かったのですが、考え方の転換法もたくさん具体的に提示してくださったので、分かりやすかったです。

#### ★どこが悪かった

- ・質問時間が少なかった(3名)
- ・もう少し具体的にどんな遊びがおすすめなのか、岡本先生の経験上でのお話を聞いて見たかった(成功・失敗談など)

#### ★今後聞きたい話・講師

- ・発達障害(幼児)の話など、障害の種類に関わらずいろいろな話を聞きたい
- ・中学・高校・社会人など今後の選択肢と進路について
- ・定期的に勉強会をして欲しい
- ・子どもに怒らない方法
- ・学校・社会に子どもを出すということ。子どもの成長を促す話

- 時間の関係もあると思いますが、1つのことに関して、深く掘りさげたお話を聞いてみたいです。
- 自閉症・発達障害児の対応 医大の飯田先生 奈良教育大岩坂先生・根来先生 金廣先生は講演を一切断るらしいからなあ
- 友達とコミュニケーションをとることどうしたらいいでしょうか？高年生の娘がコミュニケーションをどうしていったらいいでしょうか？